

# VK211簡易セットアップガイド (入門編)

1. はじめに
2. 注意・製品について
3. 各ケーブルを繋ぐ
4. 接点を配線する
5. キーボード・マウスが操作できるか確認する
6. キーボード操作を記録させる
7. プリセットを動作確認する
  
8. (補足1) プライオリティモードとは?
9. (補足2) シリアル通信
10. (補足3) 接点スイッチのご紹介



✓ このガイドではPCやシリアル通信を使用しない、最も簡単なセットアップ方法を紹介します。

- キーボード操作でキー入力を記録し、接点でプリセットを起動する方法となります
- この手順を実施する時は、VK211と接続するため以下のものをご用意ください

### 【準備するもの】

- › メカスイッチ (モーメンタリかつ、単極単投)
- › VK211とメカスイッチを接続する通信線(金属線・2芯以上)

✓ 高度な操作を行う場合は、シリアル通信によるプログラミングが必要です。

- 詳細な手順については、製品PDFマニュアルや「VK211セットアップガイド・シリアル通信編」をご参照ください。

スイッチ例



VK211本体



# ATEN | 注意・製品について

- ✔ **VK211はUSBキーボードを自動操作するためのデバイスです**
- ✔ マウスの自動操作には対応していないため、ご注意ください
- ✔ 1プリセットあたり最大で30キー入力までとなります
- ✔ 入力タイミング(x秒待ってからEnterを押す等)は記録されません



マウスはVK211と繋げて操作できますが  
マウス信号の記録/自動操作はできません。



# ATEN | 各ケーブルを繋ぐ

- ✔ VK211はバスパワー駆動に対応しています。
- ✔ USB Type-Bコネクタは操作したいPCやKVMスイッチと繋がります。
- ✔ メイン給電が不足して起動出来ない・動作不安定の場合、USB MicroBのケーブルで補助給電してください。
- ✔ VK211本体にキーボード・マウスの専用ポートにそれぞれ挿します。



上がマウス専用  
下がキーボード専用ポート

PCやKVMスイッチと接続。  
メイン給電を兼ねています

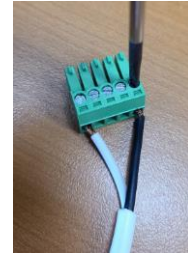


電力不足の時は  
ここに給電してください。

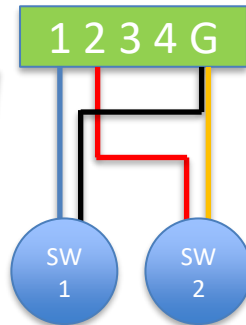
# ATEN | 接点を配線する

- ✔ 同梱のコネクタとケーブル、スイッチを用意します
- ✔ コネクタの結線部は2mmの精密ドライバーでねじ止めします。
- ✔ プリセット番号とGを結線します
  - 写真では1番とGを結線しています
  - 結線の反対側にはスイッチをつなげます
  - 複数の接点を使用する場合は、各番号とGで結線します。
- ✔ メカスイッチは使用時に電力が必要なものはご利用できません。
  - NO(ノーマルオープン)のスイッチをご用意ください

凡例



各ポイントごと  
ネジを緩めてから  
結線



2つ結線する場合の  
接続イメージ図



完成イメージ

- ✔ 以下例のように繋げた構成で  
 キーボードマウスが操作ができるか確認します。



# ATEN | キーボード操作を記録させる

## ✔ 次の順番で記録します



プライオリティボタンを  
3秒以上長押しします

長押しすると、  
1のLEDが点滅します。

LED点滅時に  
プライオリティボタンを  
短押しすると、  
記録させたいプリセットを  
選択します。

LED点滅時に  
無操作のまま5秒経過で  
登録中止します

VK211に接続した  
キーボードで  
入力します。

CS84Uのポート切替、  
1キーずつ  
[Scroll Lock]  
[Scroll Lock]  
[Enter]  
と順番に入力します

プライオリティボタン  
短押しで記録完了です。

2、3、4にも記録する時は  
繰り返し登録します。

# ATEN | プリセットを動作確認する

## ✔ 操作して確認します



### 【チェックポイント】

1. PRIORITYのLEDが消えていることを確認します  
LED消灯時のみ、入力を受け付けます。
2. 接点が正しく短絡できれば、  
対応するプリセットのLEDが点灯します。
3. 今回はポート切り替え操作を記録したので、スイッチを押すごとに  
1→2→3→4→1...とポートが切り替わったら成功です。

### 【入力確認のポイント】

- ・登録したキー入力が期待する挙動になっているかご確認ください。
  - ・1度の操作で連続して入力を送付する原因は  
接触不良ケーブルやスイッチ接点に起因するケースが多くあります  
パーツ交換や繋ぎ直して改善させるかお試しください。
- ・PRIORITYモードは後述の動作モードを示します。  
このLEDが点灯している時は接点による入力やRS232からの  
自動操作命令を意図的に受け付けないようにしています。

# ATEN | 設定はこれで完了です

✓ 以上で、本体の最もシンプルな  
設定方法の手順でした。

【試験環境などで十分に評価を行ってください】

・接続するPCやサーバーによってはVK211の入力が早すぎてキー入力を受け付けられないケースがございます。

この場合はRS232で本体設定をするなどの  
微調整が必要になることがあります。

実際に操作するPCやサーバーと接続し、  
動作を確認して実環境へご導入いただきますよう  
お願い申し上げます。



# ATEN | (補足1) プライオリティモードとは?

✔ 緊急事態用のセーフティ機能です。



ボタンを押してLED点灯させると、  
機能が発動し、VK211に接続している  
キーボード・マウスのみの操作を受け付けます

緊急事態が発生した時に、  
勝手に接点やRS232で操作されないよう  
外部制御のみ操作を止める機能です。



## ✔ 本体設定や高度な操作をするためにご利用ください

RS232モードは次のような要望がある時にご利用ください

- 本体設定を変更する必要がある  
(PCへのキー入力速度を変えたい)
- 30字以上のキー入力をしたい
- 外部の制御機器と連携して高度な操作をさせたい  
(4つ以上のプリセットを自分でプログラミングして使いたい等)



詳細は製品マニュアルまたは別途セットアップガイドをご参照ください。

# ATEN | 接点スイッチのご紹介

✔ ATENでも接点スイッチの取り扱いがございます

表面



裏面



【型番】  
VPK104

他社製スイッチボックスなどに  
取り付け可能な接点スイッチです。  
4点すべて単極単投で、VK211と  
組み合わせてご利用いただけます。

既存品と組み合わせて接点スイッチボックスを  
作製できるので省力化ができます。

# Simply Better Connections

